

## あとがき（謝辞）

第一次産業分野において本県で初めて産学官が連携して取り組んだ大型研究プロジェクトである本事業は、多くの研究成果を挙げ、5年間の事業期間を終了いたしました。

本県では基幹産業の一つとして重要な位置づけにある第一次産業ですが、従来の交配・選抜技術を主体とした研究手法では、近年における生産環境の急激な変化や多様化する消費者ニーズに対応が追いつかない状況が危惧されております。

そこで本事業においては、現在まで蓄積された数多くの優れた研究成果に、遺伝子・タンパク質情報などの科学的根拠を見いだすことによって、今後の品種改良などを確実かつ迅速に行うことができる「アグリバイオインフォマティクス（農業資源生命情報学）」による研究基盤技術を開発いたしました。また、並行してクローン技術などを用いて遺伝的に同一の個体を大量に増殖させる技術を開発し、それらを融合させることで効率的に安定生産に結びつけるシステムを開発することができました。

本事業の研究成果による優良品種などが産地に普及するまでには、まだ、何年かの歳月が必要ですが、本事業を実施したことが、本県第一次産業を将来にわたって持続可能な産業とするためのターニングポイントとなったと考えております。

また、事業をとおして地域における産学官連携が一層促進・強化され、本事業フェーズⅢにおける取り組みを具体化する「1.5次産業創生協議会」の設立や、様々な分野で公募型研究開発資金の提案・獲得が増加するなど、新技術・新産業の創出につながる産学官連携基盤が構築されたことも、本事業の大きな成果であります。

このような機会を与えていただき、また、事業推進に際して多大のご支援・ご指導を賜りました独立行政法人科学技術振興機構の関係各位に対し厚く御礼申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

和歌山県地域結集型共同研究事業

事業総括 竹 田 實